

市議会だより

あなん



市議会9月定例会から

○令和5年度一般会計補正予算
10億6600万円の追加を承認、可決

第3回 AnananCup ティーボール大会 (JA アグリあなんスタジアム)



阿南市議会 HP
2次元コード

編集：議会だより編集委員会
発行：阿南市議会 〒774-8501 徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3
TEL 0884-22-3399 FAX 0884-22-9225
E-mail gikai@anan.i-tokushima.jp



9月定例会のようす

9月定例会の概要

9月定例会は9月4日から25日までの22日間の会期で開きました。今議会では、専決処分の承認議案1件、条例の制定議案1件、条例の一部改正議案2件、補正予算議案6件、決算認定議案20件、人事議案1件、その他の議案7件の計38件の市長提出議案と議員提出議案3件（うち動議1件）、請願1件を審議しました。

その結果、市長提出議案の第17号議案及び決算認定議案20件のうち18件を継続審査とし、他の市長提出議案はいずれも原案のとおり承認可決、認定、適任と決定しました。また、議員提出議案は可決とし、請願は採択と決定しました。（一般質問の内容等本会議のようすを録画映像でご覧いただけます。（9ページ参照）

9月定例会日程

（会期22日間）

4日（月）開会

会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程

12日（火）一般質問

13日（水）一般質問

14日（木）一般質問

議案質疑、委員会付託

15日（金）産業建設委員会

19日（火）文教厚生委員会

20日（水）総務委員会

25日（月）閉会

各常任委員長報告、質疑、討論、採決、市長提出追加議案の提案理由の説明、質疑、決算審査特別委員会の設置及び委員会付託並びに委員の選任、人事議案の提案理由の説明、採決、議員提出議案の採決、閉会中の継続審査及び調査、議第3号（動議）の提案理由の説明、質疑、討論、採決、阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会委員の選任

決算審査特別委員会（委員12人）を設置しました。

- 委員長 住友進
- 副委員長 奥田 勇
- 委員 横田 守弘
- 委員 幸坂 孝則
- 委員 武田 光普
- 委員 渡部 友子
- 委員 星加 美保
- 委員 喜多 啓吉
- 委員 水谷 あゆみ
- 委員 西川 達也
- 委員 福谷 美樹夫
- 委員 佐々木 志満子

阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会（議長を除く全議員で構成）を設置しました。

- 委員長 山崎 雅史
- 副委員長 福谷 美樹夫

同意した人事議案

○人権擁護委員

服部 千鶴（大井町）

一般質問を行った議員

○代表質問(75分) 4人

橋本 幸子

(市民クラブ)

湯浅 隆浩

(あなん至誠会)

住友 利広

(みらい阿南)

平山 正光

(経政会)

○個人質問(60分) 9人

久米 良久

荒谷 みどり

喜多 啓吉

山崎 雅史

水谷 あゆみ

武田 光普

星加 美保

小野 毅

陶久 晃一

本会議における質問の順序は、代表質問は輪番制で、個人質問は抽選により決定しています。

一般質問ダイジェスト

市長の政治姿勢

公民連携の成果と次期プランの策定

Q 行財政集中改革プランにおける公民連携のこれまでの成果と、その成果を踏まえた行財政改革のさらなる展開、次期プラン策定の考えは。

A 令和5年度までを計画期間とする現行のプランは、

総合計画の推進エンジンとして令和3年7月に策定したものであるが、同計画に掲げる行財政運営のビジョンを全て職員が共有し、全庁一丸となって取り組んだ結果、スポーツ施設等における指定管理者制度・ネーミングライツ制度の導入をはじめ、重点取組項目に掲げる4項目の全てが達成された。従来、行政が一手に担っていた各種事業を優れたノウハウを有する民間事業者をパートナーとして共に取り組むことで、令和4年

度実績で約2400万円に上る財政的効果はもとより、指定管理者制度導入施設における市民サービスの向上といった、市民の皆様が実感できる効果にもつながられたと認識している。次期プランの具体的な重点目標及び重点取組項目については、まずは現行のプランの成果、課題をしっかりと検証を行った上で検討していくこととなるが、公民連携がその重要な柱になることは明らかである。

現行のプランで、重点目標の公共施設マネジメントに位置づけている取り組みではあるが、阿南市トライアル・サウンディング事業の取り組みに参画いただいた民間事業者の皆様のおかげで、当初の想定を上回る成果を上げることができた。こうした貴重な経験を踏まえ、民間事業者が持つアイデアやノウハウを生かす手法である阿南市民間提案制度を創設したが、この市独自の制度は、行政の事業に伴う

様々な制約を極力排すること、民間事業者の活力を最大限引き出すことができる設計としていることから、将来世代を見据えたニーズにも的確に対応しうるものである。今後は、阿南市民間提案制度の効果的な運用を軸として、議員をはじめ、阿南市行財政改革懇話会委員から寄せられた意見等を踏まえながら、多面的な角度から、次期プランの策定について検討を加えていく。

防災行政

避難所運営の人材確保

Q 大規模災害時は避難所運営にあたるスタッフが確保できないことが想定され、所要の経費を公費負担する仕組みが必要と考えるがどうか。

A 発災直後の避難所開設時には、避難所や施設管理担当の職員を中心に、避難住民の協力を得て運営を行い、その後は、避難所の運営が円滑に行えるよう、自主防災組織を中心とした運営組織を立

ち上げ、避難者等による自主的で組織的な運営に移行していただくこととしている。大規模災害時には、避難所運営に当たる人材が不足することも十分懸念されることから、円滑な避難所運営が可能となるよう、平時から自主防災組織の育成や訓練の実施のほか、阿南防災士の会との連携等に努めている。

また、災害救助法による救助の程度、方法及び期間並びに実費弁償の基準においても、避難所の設置等は通常、地方自治体の職員等が被災者自身を含む地域住民等の協力を得て行うことから、経費として支出しないことが一般的であるとされている。

公共施設の活用

夕暮市場（ユウグレマーケット）開催時の駐車場の確保

Q 市役所のエントランスで夕暮市場（ユウグレマーケット）を毎月第1水曜日に開催しているが、住民票をとるなどのために訪れる市民の

方の駐車場の確保はどうされているか。

A 夕暮市場（ユウグレマーケッ）は、中心市街地の活性化を目的として、民間事業者と阿南工業高等専門学校（ユウグレマーケッ）の学生らが連携し、市役所を中心に月に1度、平日の夕方3時間に限定し開催しており、富岡町の商店街を含む地元事業者等が魅力的なブースを展開し、多くの市民の方々に御来場いただいている大変盛況な事業となっている。

その反面、第1回開催時には、既存の市役所駐車場だけでは一般の来庁者の駐車場の確保が困難な状況が生じつつあった。そこで、これを克服するため、市役所周辺の事業者様の駐車場を借りし、夕暮市場（ユウグレマーケッ）の来場者にはそちらに駐車していただくことで、周辺の混雑等を緩和すべく、取り組んでいる。加えて、市役所周辺

の市有地や市の管理用地など、駐車可能な場所の確保を進めており、今後も、夕暮市場（ユウグレマーケッ）の開催により、一般の来場者の方の利便性を損なわないよう、最適な方法を検討していく。



夕暮市場(ユウグレマーケッ)のようす(令和5年10月4日)

に関わったのか。また、地域の活性化として交流人口に上がったか。

A 淡島海岸では、毎月第3日曜日にあわしまマルシェが開催されているほか、令和5年7月29日には海水浴場組合による宝さがしが行われている。北の脇海岸では、うみてらす北の脇でマリンスポーツ体験、ハワイアンダンスやドローン、お菓子作りなどの体験会を開催しているほか、海水浴場開設期間中には、あなんマリンスフェスティバルとして、令和5年7月29日に阿波踊りと花火大会が、令和5年8月6日に宝さがしやSUP・カヤックの無料体験が行われている。

これらのイベントは、それぞれの事業者が主体的に取り組んでいるが、市では広報あなんに掲載するなど、集客面でのサポートを行っている。

また、これらの事業が交流人口につながったかということについては、うみてらす北の脇などの強みを生かしたマリンスポーツなどの体験型の事業が実施されたことにより、一定の効果は得られていると考えているが、市としては、両海岸のすばらしさをより積極的にPRしていくとともに、環境整備にも努め、観光客の増加につなげていく必要があると考えている。



淡島海岸で開催された西日本SUP選手権 in SUP TOWN ANAN (令和5年9月17日)

市立高校の開校

Q 学校再編で高校生がいなくなつた地域では人が少なくなると、人口減少に歯止めをかける対策が求められている。そこで、阿南光高校新野キャンパスを本市が引き取り、阿南市立新野農業高校(仮称)を開校するとして地域創生事業は、本市にとって非常に魅力的なプロジェクトになると考えるがどうか。

A 現在、阿南光高校は地域における農産物などの生産、商品開発、加工、販売の一連の流れを一体的、実践的に学ぶ6次産業化教育を展開し、阿南光高校新野キャンパスを農業教育の実習フィールドとして活用している。さらに、同キャンパスは、徳島大学サテライトキャンパスに位置づけられ、高校と大学、企業が連携をして、研究開発、実験を行う拠点となっている。既に本校機能がなくなっているとはいえず、現在も県立高校としての機能を有し、高大接続教育の拠点となっている施設を市立高校として移管、



農業教育の実習フィールドとして活用している阿南光高校新野キャンパス

構築しようということについては、県との調整、教職員の確保、運営費用の負担、さらには市民の皆様をはじめ、関係機関との合意形成など、多岐にわたる課題を解決する必要がある。

令和5年4月に開校した神山まるごと高等専門学校は、経済波及効果について、神山町のホームページには一時効果

として、1人当たり約31万円、開校後の単年度効果として、1人当たり約6万5000円強の経済波及効果が発生することが分かったと掲載されている。

このように、特色ある市立高校の開校がかなえば、経済効果のほかにも、生徒による地域活動への参加や社会貢献など、地域の波及効果は大きい。また、地元の自然環境や生産基盤を生かした教育カリキュラムや文化の承継など、本市のニーズや特色に合わせた教育内容を提供できるという利点が高げられるが、難易度が高い取り組みであることから、今後、先進事例等を参考に実現可能性について研究していきたい。

土木行政

道路整備

Q 四国横断自動車道(仮称)阿南インターチェンジに

接続する市道として整備されている市道渡り上り2号線の現在の進捗状況と、今後の整備スケジュール、完成供用の見通しについて伺いたい。

A 市道渡り上り2号線は、四国横断自動車道(仮称)阿南インターチェンジからの追加ランプと主要地方道阿南勝浦線を結ぶ重要なアクセス道路として、延長約620メートル、2車線で片側に歩道を有する幅員9・75メートルの道路整備を行っている。現在の事業の進捗状況として、これまで関係者の皆様の御協力をいただき、令和4年12月から県道側約220メートルの区間について、道路側溝等の土木工事を鋭意施工しているところである。

今後の整備スケジュールとして、現在、施工している土木工事が完了した区間の舗装工事に着手する予定としており、令和5年度においても引き続き、未買収地の取得並びに工事の発注に向けて準備を進めている。完成供用の見通しとして、四国横断自動車道の事業進捗に遅れることなく、国や県など関係機関と連携を図りながら、計画的かつ効果的な事業の推進に努めていく。



市道渡り上り2号線の工事のようす

新たな道の駅の整備

Q 現在、徳島南部自動車道の工事が進んでおり、桑野・福井道路の工事も進み出している。広域道路ネットワークの開通に遅れることがないよう、新たな道の駅を(仮称)阿南インターチェンジ周辺に整備してはどうか。

新たな道の駅の候補地は、長期的かつ広域的視点での検討が必要であり、高速道路等広域道路ネットワークの開通に伴う相乗効果も当然ながら考慮する必要があります。徳島南部自動車道の(仮称)阿南インターチェンジ周辺は、道の駅にどのような施設整備を行うのかにもよるが、採算性の観点や観光、地域振興、さらには南海トラフ巨大地震発生時の道路啓開の拠点としての重要性を考慮した場合、有力な候補地の一つである。

また、新たな道の駅は候補地の選定はもとより、施設の運営管理手法も極めて重要となってくる。誰がどのような形で営むのかという話であり、これは、採算性に著しく影響し、新しい道の駅が一過性ではなく、将来的にもうかる道の駅となるのかどうかを左右する要素であると言っても過言ではない。

これらの要因を考慮して、新たな道の駅の候補地の選定は、現時点では特定の地域に焦点を当てず、地域全体にとって最適な道の駅の整備の可能性について調査研究を進めていきたい。

JR牟岐線アンダーパスの道路標示

Q 令和5年6月2日の大雨により、JR牟岐線アンダーパスで軽乗用車が水没した事故を受け、道路標示が設置されたが、今回、通行の注意喚起を促す電光掲示板と赤色回転灯の点灯はされていたのか。また、排水ポンプと連動した操作ができていたのか。

A JR牟岐線アンダーパスのある主要地方道富岡港線を管理する県に状況を確認したところ、「現地のアンダーパスには冠水センサーを設置しており、10センチメートル以上の冠水になると電光掲示板と赤色回転灯により通行止めを表示することになっており、当日も表示されていた。排水ポンプは、ポンプ室の水位センサーで感知し、作動するよう設定されており、こちらも正常に稼働していた。」との回答であった。

しかし、令和5年6月2日の大雨で軽乗用車が



JR牟岐線アンダーパスの道路標示

水没し、動けなくなる事故が発生したことから、県は令和5年8月29日、「JR牟岐線アンダーパスの2車線の路面に車が走行できなくなるとされる水深10センチメートルと、水圧でドアが開かなくなる水深50センチメートルが分かる道路標示を設け、道路の壁面の2か所には水深が分かる目盛りを取り付けるとともに、アンダーパス進入口の手前には冠水注意の文字の設置を終わっており、日常から道路利用者の方々に対して注意喚起を促すことにより、事故の再発防止につなげたい。」との回答をいただいている。

子育て支援

子育て支援の充実

Q 鳴門市が第4回日本子育て支援大賞2023を四国の自治体で初めて受賞したとの報道があったが、類似団体である鳴門市の今回の受賞をどのように捉えているか。

A 鳴門市の子育て支援策として実施している「なる」とまるごと子育て応援。パツケージ」は、一定期間を子育て応援の集中実施期間と位置づけ、子どもの年齢に応じた子育て支援策を体系的にパッケージとしてまとめられたもので、子育て世代を包括的にサポートする施策を分かりやすくまとめられている。本市も、各家庭のライフステージに応じた独自の子育て支援策に取り組み、未就学児は保育料や副食費の無償化をはじめ、認可外保育施設等の利用料や副食費も一部補助をするなど保護者の経済的な負担軽減を目的に令和2年度から実施している。

また、妊娠から就学児に關

する行政サービスを分かりやすくまとめた子育てガイド「たけのこ」を毎年発行し、子育て世帯の手に届きやすい施設等に配布し、スマートフォンからも見られるよう、地域子育て情報アプリ「あななんと いっしょ」として、阿南市公式LINEやホームページに掲載している。

さらに、令和5年度の取り組みとして、教育・保育の無償化の対象とならない在宅で育児をされている保護者を対象に、スマートフォンで申請、利用できるデジタルギフトとして、1人当たり年間1万5000円の応援金を支給することとしている。

今後、国が掲げる「こどもまんなか社会」の実現のため、子どもを取り巻くあらゆる環



子育てガイドananたけのこ

境を視野に入れ、地域のニーズや予算などを考慮しながら、常に子どもの視点に立った施策の実現に向け取り組んでいきたい。

保健福祉行政

はつらつ介護予防促進事業

Q 通いの場で行う測定は簡易な検査であることから、

測定結果に異常がなく、体調に不安がなければ、かえって受診につながる、気づかないうちに病気が進行してしまうといったことが懸念される。本事業の推進にはこうしたことを踏まえた上で事業を実施する必要があると思うが、今後の事業展開について伺いたい。

A 通いの場で行う骨密度測定や血

管年齢測定は、あくまでも健康状態の目安であり、診断結果ではないことの注意を喚起する必要がある。そのため、測定時には異常がなくても専門機関での検査、診察を受け、早期発見、治療を行うことの大切さを周知していく必要がある。また、骨粗しょう症や動脈硬化の進行は、本人に自覚症状がないことが多く、本人自らが病気に気づくことが難しいことから、早期に予防や治療に取り組むには、検診を積極的に受診することが重要となる。



いきいき100歳体操のようす

本市としては、介護保険制度における介護予防や重度化防止に向けた地域支援事業に本事業を位置づけ、通いの場であるあなんサロンやいきいき100歳体操等での測定時には、専門機関への受診の大切さを周知と合わせて、骨の健康を維持する方法や動脈硬化の進行を防ぐための生活習慣改善のアドバイスなど、高齢者の「いつまでも、はつらつと元気でいたい」という思いに寄り添いながら、一般介護予防事業の取り組みと一体的に実施していきたい。

物価高騰等への支援

プレミアム付き商品券事業

Q 今回のプレミアム付き商品券事業の目的は。

A 本事業は、市民の皆様の声に寄り添った生活支援を最大の目的としている。昨今の社会経済情勢に鑑みると、いまだ続く新型コロナウイルス感染症対策やロシア・ウクライナ情勢に端を発した物価高騰など、日々私たちの暮らしを圧迫する状況が続いている。電気・ガス・食料品等価格高騰は一向に収まる気配がなく、むしろその勢いは増すばかりで、国及び県においても様々な支援策に取り組んでいる。ただいま見えない不安定な状況にあると考えている。こうした状況の下、今回のプレミアム付き商品券事業を実施するものであり、市民生活を脅かす急激な電気・ガス・食料品等価格高騰に対し、市民の皆様の暮らしをお支えることを目的として、プレミ

アム付き商品券を発行することにより、生活支援を行うものとするものである。

観光行政

大阪・関西万博を見据えた取り組み

Q 大阪・関西万博はインバウンド集客が期待され、本市にとっても観光客にアピールする好機である。本市の今後の観光政策と、県や他の自治体との連携についてどのように考えているか。

A 令和7年に開催される大阪・関西万博は、想定来場者数2820万人のうち、訪日外国人客であるインバウンドは350万人と見込まれ、経済波及効果は約2兆円と試算されている。大阪・関西万博は、インバウンド復活の起爆剤であり、産業、食、物産、観光地を世界中にアピールする絶好の機会でもあるため、本市にとってもまたとないチャンスである。本市としては、市内各地域の皆様と連携を図りながら、

現在ある観光資源のブラッシュアップに努めるとともに、SUPや四国遍路道のほか、本市が持つ豊かな自然や歴史、文化など、言わば「阿南の原風景」をより多くの方に注目していただけるよう、マーケティングの力を高めていきたい。

また、県及び他の自治体との連携として、徳島県の「ブルーピリオン」のコンテンツへの企画提案や徳島県南部・高知県東部の14市町村で構成する四国南東部広域観光協議会においては、四国南東部への周遊モデルコース作成などに参画している。

今後とも積極的に各種団体との情報共有や意見交換を行う中で、本市を訪れる観光客消費額の増加に向けた施策について、さらなる検討を加えていきたい。

水産行政

遊休施設の有効活用

Q 那賀川町出島海岸にあるフルマエビの中間育成場

は、使用されない状態で年月が経過しているが現在の状況は。また、海岸という立地条件を生かし、釣り堀などに有効活用できないか。

A 当該施設は昭和63年に整備された県有施設で、県に確認したところ、平成23年までは、旧中島漁業協同組合現在の阿南中央漁業協同組合が放流用クルマエビ種苗の中間育成場として活用していたが、潮流の影響や組合員の高齢化等により、事業の継続が困難となり、遊休施設になっているとのことである。

施設の有効活用について、徳島県ぐるまえば増殖場施設管理規程では、「当該施設は、原則として放流用ぐるまえば種苗の中間育成場として利用するものとする。但し、同種苗の育成期間以外については、漁業振興のための有効利用を図ることが出来るものとする。」また、「施設を利用する者は原則として、県内の漁業協同組合連合会もしくは漁業協同組合とする。」と定められており、現在、県が阿南中央漁業協同組合と今後の利用について検討を行っている

と伺っている。

市税

固定資産の税収

Q 市税の中で大きな割合を占めている固定資産税について、土地及び家屋の税額の過去3年間の推移を伺いたい。

A 年度当初調定額で、土地は、令和3年度は14億884万3800円、令和4年度は14億884万6000円、令和5年度は14億904万5400円で、令和5年度は令和3年度に比べ158万1600円の増額となっている。

家屋は、令和3年度は25億2834万8700円、令和4年度は26億6430万7700円、令和5年度が27億4143万4100円で、令和5年度は令和3年度に比べ2億1308万5400円の増額となっている。

宅地の面積が増加傾向であるにもかかわらず、土地に係る固定資産税の伸びが低い理

由として、一部地域を除き、地価の下落による時点修正を行っていることが主な要因であると考えられる。

水道行政

桑野簡易水道の市への事業移管

Q 今後、移管に向けての協定や契約を結ぶと思うが、いつ頃結ぶのか。また、今後のタイムスケジュールをどのように考えているか。

A 現在、市が譲り受ける資産の精査が完了し、このうち、整備を要する資産の選定についておおむね協議が調ったところであり、令和5年度はこれら整備に要する事業費の試算及びその事業の手法等について検討を行う予定である。

移管に向けての協定やタイムスケジュールは、これら事業に対する費用負担等の協議が調った後、移管までの工程を効率的かつ実現可能なものとする必要があることから、事業費、手法等を十分精査の

上、組合との協議により検討していきたい。

教育行政

不登校対策

Q 令和5年3月31日、文部科学省はCOOLOプラン（ココロプラン）を発表したが、本市において、実効のある取り組みを行うには、不登校児童生徒の現状把握や不登校につながった要因の分析が必要だと考えるがどうか。

A 不登校は多様な要因、背景により、結果として不登校になっていることから、児童生徒一人一人の状況について適切に把握、分析し、どのようなアプローチが必要なのか明確にする、いわゆるアセスメントを行い、支援の目標や方針を定めた上で対応していくことが重要だと考えている。

教育委員会では、市内小中学校に対し、年3回、不登校状況実態調査を実施し、本人や家庭の状況、学校の対応について実態把握に努めている。

また、その結果を不登校対策連絡協議会等において、各学校やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関等と共有、分析すること、より適切な児童生徒の支援につなげている。
今後、文部科学省のCOOLOプランを踏まえ、誰一人取り残さない学びの保障の実現に向けて取り組んでいく。

12月定例会の予定

- 12月4日(月) 開会
- 12月12日(火) 一般質問
- 12月13日(水) 一般質問
- 12月14日(木) 一般質問・議案質疑
- 12月15日(金) 委員会
- 12月18日(月) 委員会
- 12月19日(火) 委員会
- 12月22日(金) 採決・閉会

日程は変更になる場合があります。詳しくは、議事事務局までお問い合わせください。
☎ 22-33399

本会議の生中継をスマートフォン等でご覧いただけます

議会映像インターネット配信アドレス
<https://anan.media-streaming.jp/>



議会映像インターネット配信
2次元コード

令和4年3月定例会から本会議のインターネットによる生中継（ライブ配信）を開始しています。

パソコン、スマートフォン等で本会議の中継を視聴することができます。

ライブ配信は阿南市議会のホームページもしくは2次元コードからご覧いただけます。

ケーブルテレビでも本会議の様子を生放送しています。放送時間は午前10時から本会議終了まで。



本会議の録画映像を配信しています

本会議の録画映像をパソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。
 録画映像は阿南市議会のホームページもしくは2次元コードからご覧いただけます。

会議録の閲覧ができます

阿南市議会ホームページアドレス
<https://www.city.anan.tokushima.jp/gikai/>



阿南市議会 HP
2次元コード

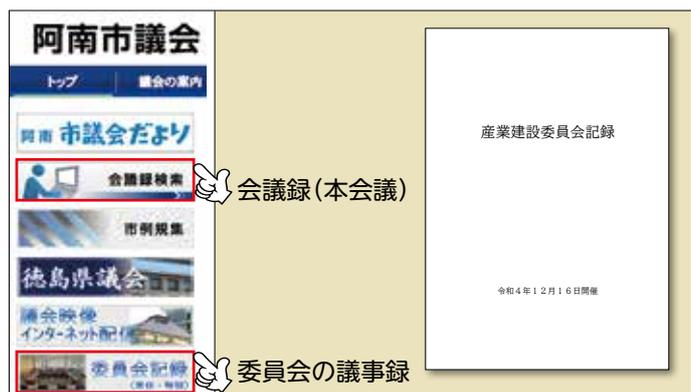
定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

①製本会議録を閲覧する方法

お近くの公民館、市内図書館に製本会議録を配本しています。

②インターネットで閲覧する方法

阿南市議会ホームページ→会議録検索を選択すると閲覧することができます。



委員会の議事録をホームページに公開しています

令和4年6月定例会から開催された委員会の議事録を市議会ホームページからご覧いただけます。
 閲覧が可能な委員会は次の委員会です。

常任委員会 産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会

特別委員会 決算審査特別委員会、行財政改革調査特別委員会、まちづくり調査特別委員会
 阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会

なお、ホームページへの公開は議事録が完成次第行います。（委員会終了後1か月～2か月程度）

意見書

9月定例会で可決された意見書の内容は次のとおりです。

日本政府に保育所等保育施設の職員配置 基準改善等を求める意見書

内閣総理大臣など関係大臣へ送付
(令和5年9月25日)

政府は、「少子化は、我が国が直面する、最大の危機である」との認識の下で次元の異なる少子化対策を進めることとしている。

6月13日に閣議決定した「こども未来戦略方針」に基づき、今後、「こども・子育て支援加速化プラン」の3年間の集中取組期間において、政府を挙げて取り組んでいくこととしており、6月16日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2023」においても、「少子化対策・こども政策の抜本強化（加速化プランの推進）」を重点政策として掲げている。

しかし、こども・子育て支援加速化プランの具体化にあたっては、保育所等保育施設の運営が公立・民間にかかわらず、十分な財源措置を行うことや、学童保育に関連する予算についても、職員配置基準の改善や施設・設備の充実に必要な額を充足する財源措置を行うことが、こども・子育て支援加速化プランの成否に大きく関わることから、地方単独事業への支援も含め、政府の責任において確実な財源措置を行うよう、政府に以下の事項の実現を求める。

記

- 1 保育所等保育施設の職員配置基準をOECD先進国並みの職員配置基準に改善すること。
- 2 保育所等保育施設・学童保育施設の職員の処遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。
- 3 保育所等保育施設・学童保育施設で働く職員の人員確保策を早急に策定・実施すること。
- 4 こども・子育て支援加速化プランの具体化にあたっては、保育所等保育施設の運営が公立・民間にかかわらず、十分な財源措置を行うこと。

また、学童保育に関連する予算についても、職員配置基準の改善や施設・設備の充実に必要な額を充足する財源措置を行うこと。

常任委員会での審査

9月定例会において各常任委員会では、付託された議案の審査を行いました。

以下審査の過程で出された主な質疑、意見等の内容を報告します。

産業建設委員会

市長提出議案7件を審査

◇令和5年度一般会計補正予算の関係部分で、公共土木施設災害復旧費に計上されている河川災害復旧工事費1億760万円の内容と、今後の工事のスケジュールについて質疑があり、令和5年6月1日から6月3日にかけて発生した豪雨により被災した、長生町の大谷川ほか準用河川3か所と、桑野町の池ノ内川ほか普通河川6か所の合わせて9か所の河川災害復旧工事に必要となる工事費である。

今後の工事スケジュールとして、国による公共土木施設災害復旧事業の査定を受け、現在、査定結果に基づき実施設計を進めており、本議会で承認された後に順次、工事を発注する予定であり、非出水



産業建設委員会のように

期に工事を着工できるように、速やかな復旧に向け取り組んでいきたいとの説明があった。

◇阿南市市民会館除却工事の請負契約の締結について、本市が今回採用した簡易型総合評価落札方式の入札は、国、県と同様であるとの意見、また、総合評価落札方式に係る

評価基準等については、詳細な資料の提示と説明をいただいた上で慎重に審査をすべきであるとの意見があった。

文教厚生委員会

市長提出議案8件、請願1件を審査

◇令和5年度一般会計補正予算の関係部分で、在宅育児応援デジタルギフト発行委託料300万円の内容について質疑があり、これまで県が実施していた徳島在宅育児応援クーポン事業を発展的に継続する事業として実施するもので、対象となる児童の年齢を拡大し、一人につき年間1万5000円分の電子マネーを給付する事業で200人分を見込んでいる。申請方法は、保護者の方にスマートフォンから必要事項を入力していただき、市は、その内容を確認後、申請者のスマートフォンにURLを送信し、スマートフォンに届いたURLを申請者がタップすれば提携した店舗で利用可能な電子マネーが給付される仕組みとなっている。電子マネーを利用するに

あたり、アプリケーションは不要で、申請者の個人情報を登録することなく利用が可能であるとの説明があった。



文教厚生委員会のように

別割は、国の主導により、令和5年度からQRコードを導入しており、さらに、「令和6年度からは、他の税についても原則QRコードを導入すること」という国からの通知に従い、市民税と国民健康保険税に導入するものであるとの説明があった。

これを受けて委員から、市民へQRコードを利用する際のメリット、デメリットの説明をするとともに、手数料の面から考えて、一番効率的な口座振替を勧めたいとしたいとの意見があった。

総務委員会

市長提出議案6件を審査

◇令和5年度一般会計補正予算の関係部分で、電算システム改修委託料324万4000円について、市税の納付書にQRコードを導入するための経費を計上しているが、QRコードの導入経緯と今後の進め方について質疑があり、固定資産税と軽自動車税の種



総務委員会のように

9月定例会議決結果一覧

承認議案

承認第 1号 令和5年度阿南市一般会計補正予算(第4号)に係る専決処分の承認について (原案承認)

条例議案

第 1号議案 阿南市犯罪被害者等支援条例の制定について (原案可決)

第 2号議案 阿南市水道事業条例の一部改正について (原案可決)

第 3号議案 阿南市火災予防条例の一部改正について (原案可決)

補正予算議案

第 4号議案 令和5年度阿南市一般会計補正予算(第5号)について (原案可決)

第 5号議案 令和5年度阿南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について (原案可決)

第 6号議案 令和5年度阿南市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について (原案可決)

第 7号議案 令和5年度阿南市学校給食事業特別会計補正予算(第2号)について (原案可決)

第 8号議案 令和5年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計補正予算(第1号)について (原案可決)

第 9号議案 令和5年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)について (原案可決)

決算認定議案

第10号議案 令和4年度阿南市水道事業会計決算の認定について (原案認定)

第11号議案 令和4年度阿南市公共下水道事業会計決算の認定について (原案認定)

第19号議案 令和4年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第20号議案 令和4年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第21号議案 令和4年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第22号議案 令和4年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第23号議案 令和4年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第24号議案 令和4年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第25号議案 令和4年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第26号議案 令和4年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第27号議案 令和4年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第28号議案 令和4年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第29号議案 令和4年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第30号議案 令和4年度阿南市春日野地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第31号議案 令和4年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第32号議案 令和4年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第33号議案 令和4年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第34号議案 令和4年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第35号議案 令和4年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

第36号議案 令和4年度阿南市椿診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について (継続審査)

その他の議案

第12号議案 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について (原案可決)

第13号議案 新たに生じた土地の確認について (原案可決)

第14号議案 字の設定について (原案可決)

第15号議案 市道の路線の認定について (原案可決)

第16号議案 動産の買入れについて (原案可決)

第17号議案 阿南市市民会館除却工事の請負契約の締結について (継続審査)

第18号議案 市道伊島前島線(前島橋)上部工事(着手日選択型)の請負契約の変更請負契約について (原案可決)

人事議案

諮問第 1号 人権擁護委員の候補者の推薦について (適任)

議員提出議案

議第 1号 阿南市議会会議規則の一部改正について (原案可決)

議第 2号 日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書 (原案可決)

議第 3号 阿南市葬斎場の運営に関する調査特別委員会の設置について (原案可決)

請願

請願第 1号 日本政府に保育所等保育施設の職員配置基準改善等を求める意見書の提出を求める請願 (採択)